

記者発表資料
令和6年11月14日
家畜防疫対策室 衛生安全班
担当：竹田・庄子
電話：022-211-2854

宮城県で確認された高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜の遺伝子解析の結果及びNA亜型の確定について

本県で確認した高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、遺伝子解析の結果及びNA亜型が確定しましたので、以下のとおりお知らせします。

1 概要

- (1) 宮城県石巻市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内7例目、令和6年11月10日疑似患畜確定）について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。これを受け、農林水産省は、当該家きんを「高病原性鳥インフルエンザの患畜」と判定しました。
- (2) 当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、「H5N1亜型」であることが確認されました。

（注）国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門：国内唯一の動物衛生に関する研究機関

2 その他

- (1) 我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。
- (2) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。